



2025年・新年のご挨拶



親愛なる友人の皆様、
2025年、明けまして心より
お慶び申し上げます。

昨年は、特に国際協力の
分野において、友好、相互
理解、開かれた対話を持つ
意義の重要性を改めて認識
する一年となりました。日

口交流協会は、数十年の長きにわたり、露日間のコミュニ
ケーションと文化交流という良き伝統を守り、育み、両国の
関係の発展に大きく貢献されてきました。

2025年、貴協会は創立60周年の重要な記念の年を迎えられ
ます。意義深いこの節目の年は、貴協会の豊かな歴史と、両
国民の信頼と相互理解を深めることを目指してさまざまな分
野で実現されてきた数々のプロジェクトやイニシアティブを
象徴するものであります。皆様の取り組みは、昨今の困難な
状況にもかかわらず、露日間の建設的な対話の促進に貢献
し、豊かな成果を生み続けているのです。

皆様にとって2025年が新たな機会、喜ばしい出来事、輝か
しい成果にあふれた年となりますことを願っております。す
べての協会会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしま
すと共に、貴協会の活動の益々のご発展を心より祈念いたしま
す。

駐日ロシア連邦特命全権大使
N. ノズドリェフ

新年明けましておめでとう
ございます。本年もどうぞよ
ろしくお願い申し上げます。

2025年、日口交流協会は皆
様のご支援、ご協力を賜り創
立60周年を迎える年となりま
した。当協会は1965年2月26
日「日ソ交流協会」総会が開
催され創立されました。その年は日ソ国交樹立（1925年）か
ら40周年記念の年でもあり日本とソ連の友好的な交流がス
タートした年と思っております。

昨年も世界の各地で不安定な情勢が続き、日本もこれらの
影響を受け、エネルギーや輸入穀物などの高騰で経済の多
方面において大きな影響があった1年でした。日本とロシアは
昨年引き続き政治・外交などで閉ざされており、これまで
長年継続されてきた両国の友好的な絆は忘れてはならない
と思います。

ウクライナ侵攻終結後、必ず日本とロシアの友好的な関係
は戻ると念じ、目先の事に囚われず、未来への広い視野を
持って交流を進めたいと思います。日口交流協会は政治、外
交などには関わらない方針の基、昨年も日本とロシアの一般
市民間では草の根交流を鋭意進めてまいりました。社会情勢
が厳しい中、昨年当協会の「日本文化交流団」はロシア・イ
ルクーツクの日本情報センターと協力し、日本の伝統文化を
紹介し、イルクーツク市民と交流を深め大変意義深い交流で
ありました。

国内での交流活動は、ロシアの方々との交流バスツアーで
飛騨高山や山梨のサクランボ狩りなど、着物体験、いけばな
教室、日本・ロシア・キルギス各国の料理講習会、友禅教
室、「麻布区民センターふれあいまつり」にロシアの子供達
の歌と踊り「ロシアンカ」の参加協力、板橋の花火大会など数
多くの交流イベント活動ができました。

在日ロシア連邦大使館では、ニコライ・スタニスラヴォ
ヴィチ・ノズドレフ特命全権大使がご就任され、早々に日口
交流協会の行事等でご高配、ご協力を頂いており厚く御礼申
上げます。

日口交流協会の今年の目標は、厳しい日本とロシア情勢に
おいても、長年育んできた両国の市民間の交流の絆をさらに
大切にし、引き続き交流を深めていくことです。当協会は本
年創立60周年を迎えます。そこで、「NPO日口交流協会創立
60周年記念パーティー」の開催を計画しておりますので会員
の多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

本年も当協会へのご理解、ご支援・ご協力をお願い申し上
げますと共に、平和な世界と皆様の幸多い年になりますよう
祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

(2025年元旦) 会長・服部文男